

共同研究「公法理論・判例研究会」 2017年度活動報告書

研究代表者 田 村 泰 俊

本年度は、構成員各自が、それぞれの研究を深めた。

田上公法学について、鈴木庸夫教授のご報告を予定したが、諸般の事情で、年度内に研究会を持つことができなかった。研究会解散後にはなるが、いずれかの日に、報告会を行うことを現在は予定している。